

講義名称	家庭支援論	担当教員名	小菅 ゆみ
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の対象の理解 (UC) 必修	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMUC2118

授業のキーワード	家族システム (力・境界・サブシステム) 多様性 課題 支援
授業の概要	時代の中で変化する家庭の在り方やそれぞれの家庭が持つ個別性など、家庭で発生してくる課題等について学びを深めます。また、冒頭DVD「うまれる」を鑑賞し、それぞれの家族の”決断”について考えていきます。
期待される学習成果 (目標)	保育者として「家族」「家庭」を俯瞰する力をつけます。それぞれの家庭に必要な支援が何であるかを見極め、支援の仕方を考える力を身につけます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	家庭とは	一つではない家族の形を、歴史を振り返りながら学んでいきます。
2	「責任をもって親になる」とは	「責任をもって親になる」ことについて”話し合う”をキーワードに学びを深めます。
3	少子化と家庭支援施策について	少子化を象徴する数字から見える現代日本の抱える課題と保育との関連を考えます。
4	コミュニケーションと家族関係について	”子は親の背中を見て育つ”ということばから、家族の中の人間関係について考えます。
5	家庭支援はなぜ必要か その1	親にとっての子育ての意味を、印象派画家ベルト・モリゾの絵画”ゆりかご”をもとに考えます。
6	ゲストスピーカー (ある母親の話)	「親になることと私であること」とテーマにお話ししていただく予定です。
7	家庭支援はなぜ必要か その2	児童虐待との関連から学びを深めます。
8	支援を必要とする家族・子ども その1	親自身の生き立ちを考え、ひとり親家庭やステップファミリーについて考えます。
9	支援を必要とする家族・子ども その2	障害のある子どもの家族、障害のある保護者の子育てについて考えます。
10	支援を必要とする家族・子ども その3	群馬県に住む”ロヒンギャ”の方たちやブラジル文化の濃い大泉町の例から学びを深めます。
11	「気になる子」がいるとき	「気になる子」とは？を考え、保育者として家族にどのようにアプローチしていくかを考えます。
12	虐待が疑われるとき	虐待が疑われるとき、保育者として家族にどのようにアプローチしていくかを考えます。
13	専門職・専門機関との連携	シンポジウム形式の学びとなる予定です。
14	DVD鑑賞	保育者になるものとして、将来親になるものとして知っておくべき性の知識を学びます。
15	総まとめ	これまでの講義をふりかえり、試験に備えます。

定期試験	全講義を通した基礎知識を問う試験を行います。
評価方法	授業態度・貢献度30% 提出物10% 定期試験60%
使用する教科書 (必ず購入してください)	適宜資料を配布します。
参考文献	